

**令和5年度
マニフェスト実施状況の評価**



奄美市長 安田 壮平

評価の方法

奄美市長安田壮平が市民の皆様にお示しした８８項目のマニフェストの進捗状況（進み具合）を、５段階で評価しています。また、マニフェストの５つの柱ごとに、これまでの取組を「活動の記録など」として文章でまとめています。

【マニフェストの５つの柱】

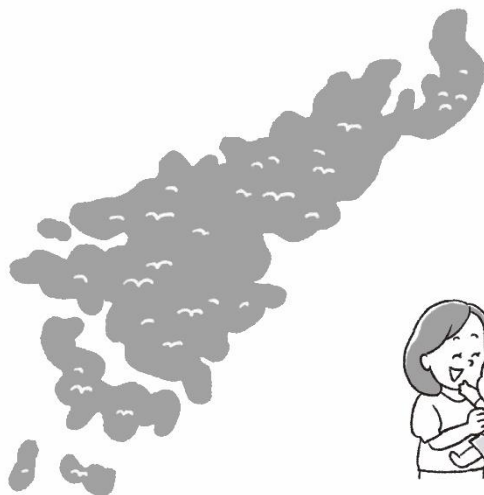
- Ⅰ 新型コロナ対策
- Ⅱ 持続可能に「かせぐ」地域づくり
- Ⅲ 安心して、ゆたかにくらせる「まもる」地域づくり
- Ⅳ 次世代を育む好循環を生み出す「そだてる」地域づくり
- Ⅴ 市民に身近で頼りになる基盤づくり

【５段階評価の考え方】

本評価作業での評価の考え方は次のとおりです。

- ５ ＝ 公約に掲げた項目が実現し、成果も出ている
- ４ ＝ 公約に掲げた項目への取組が前進している
- ３ ＝ 公約に掲げた項目に対して、従来の取組の拡充・改善や新たな取組への具体的な着手が進められている
- ２ ＝ 公約に掲げた項目に対して制度の検討などが進められている
- Ⅰ ＝ 公約に掲げた項目に対して制度研究などを進める必要がある

I 新型コロナウイルス対策		4.0
【1】新型コロナから市民のいのちを守ります。		4.0
【2】新型コロナから地域を守るため、水際対策を強化します。		4.0
【3】新型コロナから地域経済を守ります。		4.0



活動の記録など

令和5年5月より、新型コロナが感染症法上の5類に移行したことにより、法律に基づき行政が要請・関与をする段階から、市民の皆様の自主的な取り組みを基本とした対応になりました。

今後も様々な感染症に対応しながら経済社会活動を維持すべく、官民連携のもと取り組んでまいります。

1期目に取り組んだ主な事業

事業所支援給付金事業（R4）、第三者認証店舗応援プレミアム商品券発行事業（R4）、タクシー事業者等支援給付金事業（R4）、エネルギー価格高騰対策支援金事業（R4）、くらし応援ほーらしゃ券発行事業（R5） など

Ⅱ 持続可能に「かせぐ」地域づくり		3.4
○観光客一人当たり消費額の増加を目指す取り組みの強化		3.5
【4】観光・交流の高度化・高付加価値化を推進します。		3.5
【5】世界自然遺産の価値を守る公民連携の組織をつくりま		4.0
【6】観光や特産品の情報発信・広報を強化します。		3.5
【7】新しい価値観に基づく観光・交流の多様化を推進します。		3.5
【8】観光・交流の経済波及効果拡大を実現します。		3.5
【9】ユニバーサル・ツーリズムの展開を進めます。		3.5
【10】南西諸島での人の流れや物流を活性化します。		3.5
【11】国内・海外からの誘客を促進します。		3.0
○「かせぐ地域」をつくる経済政策		3.4
【12】全ての中小企業・個人事業者支援を推進します。		3.5
【13】「食と農の総合戦略」をつくり、実行します。		2.5
【14】農業支援を継続・強化しつつ、スマート農業を推進します。		3.0
【15】新規・若手就農者への支援を強化します。		3.5
【16】付加価値の高い農林水産物や加工品の生産支援を行います。		3.5
【17】「かせげる漁業」づくりに取り組みます。		3.5
【18】ものづくりと販売の支援を推進します。		3.5
【19】情報通信産業の企業・仕事・人材誘致を推進します。		3.5
【20】地元産業と情報通信産業の提携を強化します。		3.5
【21】民間との連携強化により、投資や実証実験を呼び込みます。		4.0
【22】主要インフラの整備を進めます。		3.0

活動の記録など

令和5年度は奄美群島日本復帰70周年やかごしま国体などがあり、交流人口はコロナ前の9割程度まで回復してきました。

観光業・農業・商工業・情報通信産業など、マニフェストに沿った各種事業も充実してきていますが、これからさらに成果を上げていきたいと考えます。また、労働力不足対策についても、引き続き注力してまいります。



1期目に取り組んだ主な事業

世界自然遺産公民連携プラットフォーム事業（R4～）、世界自然遺産を活かした「かせぐ」地域づくり調査事業（R5）、ユニバーサルツーリズム受入体制整備事業（R6）、航空・航路運賃軽減事業（R6より沖縄も対象）、クルーズ船受入体制強化事業（R6）、肥料・飼料価格高騰対策事業（R4）、公共施設等民間提案制度（R6～） など

Ⅲ 安心して、ゆたかにくらせる「まもる」地域づくり		3.3
○「ウェルネス」を高める医療・地域福祉の充実		2.9
【23】医療との連携を強化し、市民の健康づくりを進めます。		2.5
【24】「断らない命と福祉の相談窓口」を設置します。		3.5
【25】健康に年を重ねられる地域づくりを進めます。		3.0
【26】元気な高齢者の就労づくりを支援します。		2.0
【27】高齢者の尊厳をまもる取り組みを強化します。		3.5
【28】介護人材などの確保・育成に取り組みます。		2.5
【29】重度心身障害者等医療費制度の手続き簡素化を進めます。		4.0
【30】障がい者の収入が増す取り組みを目指します。		2.5
【31】誰もが住みやすい地域づくりに取り組みます。		3.5
【32】公共施設における分煙環境を整備します。		2.0
○市民の暮らしと安全をまもる地域防災・防犯の強化		3.6
【33】災害に応じた避難所等の増設・充実に取り組みます。		3.0
【34】災害情報の伝達を強化します。		3.5
【35】民間企業・団体の防災に向けた取り組みを支援します。		4.0
【36】ペット同伴可能な避難所の整備を進めます。		4.0
【37】防災・減災を進める治山治水事業を進めます。		3.5
【38】防犯カメラやドライブレコーダーの設置を進めます。		3.5
○世界自然遺産の価値をまもる環境保全の強化		3.5
【39】「奄美大島生物多様性地域戦略」を活用・推進します。		3.5
【40】生活環境の美化をまもるためのしくみをつくります。		3.5
【41】環境保全に特化した、地域独自の財源をつくります。		3.5

活動の記録など

コロナ禍以降、医療機関等との連携を強化しており、引き続き、市民の皆様の健康づくりの取り組みを進めます。

高齢者の就業支援や介護人材の確保は商工部門と連携して取り組んでいます。

防災も官民連携を強化して各種取り組みを進めています。

環境保全やその意識向上のためにも、さらに取り組みを強化します。



1期目に取り組んだ主な事業

高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業（R4～）、「防災ラジオ」の導入（R4～）、「つながる相談室」の設置（R5～）、認知症フレンドリー・プロジェクト（R5～）、ペット同室避難施設の確保（R6～）、「世界自然遺産に関する新たな財源検討委員会」の設置（R5～） など

Ⅳ 次世代を育む好循環を生み出す「そだてる」地域づくり		3.4
○「地域の宝」を育む子育て支援の充実		3.2
【42】子育て世代への支援を強化します。		4.0
【43】待機児童ゼロの維持に取り組みます。		3.0
【44】子育て世代の復職・就業支援に取り組みます。		3.5
【45】子育て世代への経済的支援に取り組みます。		3.0
【46】子どもの貧困対策を強化します。		3.5
【47】療育・発達支援を強化します。		2.5
【48】学童保育不足の改善に取り組みます。		3.0
○「次世代の地域の担い手」を育む教育の強化		3.5
【49】ICTの活用による学力向上に取り組みます。		4.0
【50】インターネット教育の推進		3.5
【51】郷土教育・ふるさと学習の充実に取り組みます。		4.0
【52】社会経済教育・職業(キャリア)教育の充実に取り組みます。		3.0
【53】不登校支援の充実に取り組みます。		3.5
【54】学校におけるいじめ問題の改善に取り組みます。		3.0
【55】本土遠征への支援の充実に取り組みます。		3.5
【56】高校の魅力向上を支援します。		3.5
○大人の学び直しや文化・芸術・スポーツ活動への支援強化		3.5
【57】学び直しや生涯学習の充実に取り組みます。		3.5
【58】文化・芸術活動の活性化に向けて支援を強化します。		3.0
【59】鹿児島国体相撲競技開催への機運づくりを強化します。		4.5
【60】「チャレンジスポーツ」の島づくりに取り組みます。		3.5
【61】スポーツ環境の整備に向けて取り組みます。		3.0
【62】eスポーツの振興に向けて取り組みます。		2.5
【63】奄美群島日本復帰運動の伝承強化に取り組みます。		4.5
○人口減少に歯止めをかける移住・定住支援の強化		3.5
【64】移住希望者に寄り添う相談窓口を設置します。		3.5
【65】地域の空き家を活用した移住促進策に取り組みます。		3.5
【66】あらゆるニーズに対応できる関係人口づくりに取り組みます。		3.5



Ⅳ 次世代を育む好循環を生み出す「そだてる」地域づくり(つづき)		3.5
○これからの課題に対応できる地域づくり	【67】笠利・住用などにおける「地域創生戦略」づくりを進めます。	3.5
	【68】地域おこし協力隊の導入など、外部人材を活用します。	3.5
	【69】広域的自治組織の活用に向けて、研究を進めます。	3.5
	【70】買い物難民対策を進めます。	2.5
	【71】交通弱者対策を進めます。	3.5
	【72】商店街の空き店舗対策を進めます。	3.5
	【73】新しい発想や手法による商店街づくりに取り組みます。	4.0
	【74】小さなコミュニケーションを生むしかけをつくります。	4.0



活動の記録など

子育て支援や教育・文化施策の充実は、着実に進んでおります。今後も、国や県の政策をとらえながら、本市の施策充実に努めます。また、取り組みが弱い分野についても改善を図ります。

移住・定住支援については、空き家対策を中心に取り組みを充実させてきました。今後も移住支援に力を入れていきます。

あわせて、地域づくりについても時代状況や地域のニーズをしっかりととらえて、官民連携しながら各種取り組みを進めます。

1期目に取り組んだ主な事業

まーじん子育て応援事業（子育て支援ポータルサイト開設）（H29～）、保育所等給食支援事業（R4～R5）、学校給食費助成事業（R4～）、学習eポータルやAIドリルの導入（R4～）、本土遠征費支援の高校生までの拡充（R4～）、ほこらしや奄美音楽祭（R4～）、子どもの家庭生活実態調査事業（R5）、未来応援はぐくみプロジェクト（不妊検査費用助成・男性不妊治療への旅費・宿泊費助成）（R5～）、奄美群島日本復帰70周年記念奄美市メモリアル事業（R5）、ワーケーション誘致事業（R5～）、政策アドバイザー事業（R5～）、繁盛店づくり事業（R5～）、賑わうまちづくり支援事業（R5～）、地域共創による高校みらいコンソーシアム事業（R6～）、空き家解消による住環境総合対策事業（R6～）、 など

Ⅴ 市民に身近で頼りになる基盤づくり		3.7
○市民・民間との「対話と連携」を進める市役所づくり		3.6
【75】市民との対話の場として「市民と語る会」を開催します。		4.5
【76】あらゆる知恵を活かし、収入増加を目指します。		4.0
【77】デジタル化による行政サービスの向上を目指します。		3.5
【78】行政職員のテレワークを推進します。		3.5
【79】行財政改革を推進します。		3.0
【80】民間との協働による公共投資を進めます。		3.0
【81】観光や環境対策など、広域行政を推進します。		3.5
【82】SDGs(持続可能な開発目標)の実践を推進します。		4.0
○これからの奄振活用のための議論の展開		3.6
【83】奄美群島振興開発特別措置法の延長・改正を死守します。		4.5
【84】物価高への対策としての物流費対策を研究します。		3.0
【85】新しい手軽な移動手段に対応した環境整備を検討します。		3.5
【86】グリーン社会の実現に向けた議論と実践に取り組みます。		3.5
【87】自然環境や景観に配慮した公共工事のあり方を研究します。		3.5
○政策実現の進捗の市民への公開		4.0
【88】マニフェスト(選挙公約)の実現進捗を公開します。		4.0

活動の記録など

ふれあい対話やデジタルの活用で、市民の皆様とコミュニケーションしやすい環境づくりが進んでいます。

内閣府から「SDGs 未来都市」の認定を受けたこの分野をはじめ、ネーミングライツ・脱炭素・公共施設整備運用などでも、さらに官民連携を進めます。そして、皆で掴んだ改正奄振法を活用して、さらなる地域再興に努めます。



1期目に取り組んだ主な事業

市民と市長のふれあい対話開催（R4～）、奄美市SDGs推進プラットフォーム事業（R4～）、公共施設オンライン予約システム事業（R5～）、オンライン相談窓口システム事業（R5～）、周遊観光環境構築事業（モンベルフレンドエリア登録、R5～）、ネーミングライツ事業（R5～） など